

株式会社マツザワ

長野県下伊那郡高森町

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

地域独自の素材の強み・特徴を最大限に伝える「本当のおみやげ」で“贈る人”も“贈られた人”も幸せにする

- 華僑コミュニティの「贈り物文化」市場をターゲットにギフト商品を展開し、世界10カ国以上へ輸出
- 未利用資源の活用提案により、生産者の課題解決と収入増加に貢献し、地域経済を活性化
- 地域独自の素材の強み・特徴を最大限に伝える「本当のおみやげ」が国内外で高評価を獲得

企業基本情報

| | |
|--------|-----------------------------|
| 所在地 | 長野県下伊那郡高森町下市田3123 |
| 電話/FAX | 0265-35-2333/0265-35-2939 |
| URL | http://www.matsuzawa.gr.jp/ |
| 代表者 | 代表取締役 松澤 徹 |
| 設立 | 1959年 |
| 資本金 | 10,000万円 |
| 従業員数 | 200人 |



会社概要

創業以来、地域独自の素材を活かした「おみやげ」の企画開発・製造・販売を主要事業としている。

開発した商品は地域独自の素材の強み・特徴を最大限に伝える「本当のおみやげ」として国内外で高い評価を得ている。また、創業以来培ってきた地域素材の活用ノウハウを活かし、OEM / ODM商品の企画開発・受託やコンセプトショップ、飲食店の運営など、市場のニーズに応える形で事業領域を拡大している。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 華僑コミュニティの「贈り物文化」市場に販路を開拓

世界各地に存在する華僑コミュニティの「贈り物文化」市場を海外展開のターゲットとして着目。JETRO や地元金融機関の支援を受けながら、東南アジアを中心に市場調査や商談会出展に継続して取り組み、同社の「贈った方も、贈られた方も、ほんとうに喜んでくれる“おみやげ”」をギフトとして現地ニーズに合った商品にローカライズし、営業を展開。安全で高品質な商品として市場に受け入れられ、現在では世界10カ国以上に輸出実績を有し、今後更なる輸出拡大を図っていく。



海外展示会の様子

▶▶▶ 生産者の課題解決と地域産品のブランド力向上

生産者の課題である未利用資源の活用提案を得意とし、主力商品である「りんご乙女」は生産者が廃棄していた「摘果りんご」を商品化したもの。地域の生産者と協力関係を構築し、一体となって商品化に取り組み、生産者の課題解決及び収入増加に貢献し、地域経済の活性化に繋げている。2016年には国の「地域産業資源活用事業計画」の認定を取得し、地元高森町の特産品「市田柿」の製造過程で発生する未利用品（柿果皮や規格外生柿等）を活用した商品開発に着手。商品化の実現による地元経済の活性化に向けて、地元のリーディングカンパニーとして地域全体を牽引している。



「摘果りんご」を原料とする「りんご乙女」

▶▶▶ 地域独自の素材の強み・特徴を伝える「本当のおみやげ」

同社の最大の強みは創業以来培ってきた企画開発の発想と地域固有の特定原料を素材に合った加工方法で製品化していく技術。同社により生み出された商品は地域独自の素材の強み・特徴を最大限に伝える「本当のおみやげ」として国内外からの評価を高めており、「The Wonder 500™」「NIPPON QUEST™」や iTQi 国際優秀味覚コンテストのダイヤモンド味覚賞等各種表彰・認定を受けている。



「市田柿ミルフィーユ」